

## 肺ドック

### ●肺ドックについて

日本人の死因の第1位となっている「がん」の中で最も多い「肺がん」は、進行するまで症状がでにくく、早期発見が難しい病気とされています。そのため、気づいてからでは手遅れ、または治療が困難というケースも少なくありません。しかし、早期の段階で発見された場合には、適切な治療により根治できる割合が高いともいわれています。肺がんをはじめとする胸部の病気を早期に発見するために行う画像診断が「肺ドック」です。

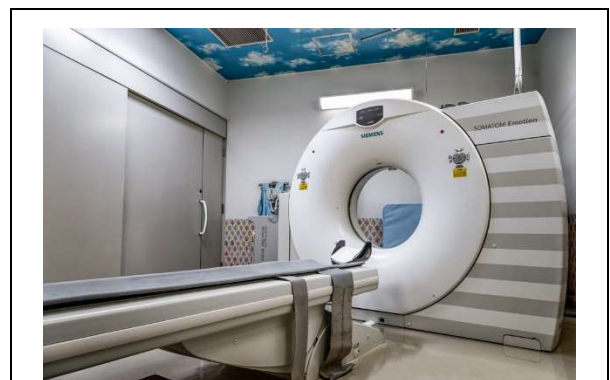
### ●このような方に肺ドックをお勧めします

次のこと（危険因子・症状）に思いあたったら、肺ドックの受診をお勧めします。

- ① タバコを20年以上吸っている（特に喫煙係数（1日の本数×年齢）が400以上）
- ② 同居者や身近にタバコを吸う人がいる。
- ③ 年齢が50歳以上
- ④ 家族や親戚が肺の病気を持っている
- ⑤ せきやたんが出やすい、または続く（特に血痰）
- ⑥ 風邪をひくと、たんのからみが長引きやすい
- ⑦ アスベストの吸引歴がある
- ⑧ 息苦しさ・発熱、深呼吸をすると胸が痛い

### ●肺ドックでわかること

- ① 肺がん
- ② 悪性胸膜中皮腫
- ③ COPD（慢性閉塞性肺疾患）
- ④ 肺結核



マルチスライスヘリカルCT

- 肺ドックの検査項目

肺マルチスライスヘリカルCT

- 検査料金

8,800円（前払い制・予約時に承ります。）

- 検査時間

約10分間（救急対応などで、時間が遅延する場合があります。）

- 注意事項

マルチスライスヘリカルCT（コンピュータ断層撮影）を使用しますので、妊娠中または妊娠の可能性のある方は、検査を受けることができません。